

2018 ベジタブルフレンズ
2018 ベジタブルファミリー

●ベジタブルフレンズ●

(日時) 2018年 8月3日 (金)
(場所) 甲山農地・社家郷山キャンプ場
(参加者) 小学生 13名
(学生スタッフ) 9名

小学生に農地で育てている野菜が口に入るまでを体験してもらえよう、2回セットのイベントを考えました。また、自立心を養うことを目的に、保護者なしでの参加に限定しました。

1回目を7月7日に予定していたのですが、西日本豪雨のため中止せざるをえませんでした。計画では、農地にいる生き物探しと野菜のお世話、野菜クイズを行うつもりでした。参加者のみなさんには、イベントで配布する予定だったしおりと、お家で楽しんでもらえるよう作成した野菜クイズの冊子を郵送しました。



8月3日のイベントでは、甲山農地で収穫した野菜でのピザ作りをしました。ピザは社家郷山キャンプ場のかまどを使って焼くことにしました。中止になった1回目のフォローもいれられるよう工夫しました。

当日、かまど担当のメンバーだけ先にキャンプ場へ行きました。残りのメンバーは、まずは参加者さんと農地で野菜を収穫します。トマトやナス、パプリカにズッキーニなど、どんなふうに住っているか観察しながら収穫しました。生き物探しの時間はとれませんでした。バッタを捕まえるなど、生き物と触れ合うこともできました。



キャンプ場へ移動し、一旦屋内で涼みながら、観察できなかった生長途中の野菜のようすを私たちが撮った写真で見てもらいました。また、農地で育てたコムギとオオムギの穂を見比べながら、ピザに使うコムギとオオムギにどんな違いがあるのか説明しました。

そして、いよいよピザ作りです。みんなで協力して生地をこねて、野菜を切りました。外気以上に熱いかまどに向かい、焼き上がったピザはどれも野菜たっぷり

りでカラフル。見た目がいいだけでなく、もちろん美味しかったです。中にはピザにしたことで野菜が食べられた、という子もいて嬉しかったです。



お土産にニンジンとタマネギをプレゼント。とても暑い一日でしたが、参加者さんは終始元気にイベントを楽しんでくれました。子どもたちのがんばりを保護者さまにお伝えしたくて、後日、1人ずつ写真を保存したCDをお送りしました。

●ベジタブルファミリー 1回目●

(日時) 2019年 11月10日 (土)
(場所) 甲山農地
(参加者) 西宮市在住の小学生とその家族
4家族 17名
(学生スタッフ) 9名

今回はより応募してもらいやすいよう、家族で参加できるイベントを考えました。募集期間も余裕をもったことで、予想をはるかに上回る24家族からご応募いただきました！スタッフ全員が参加者と関わり、きめ細やかな気配りをしたいという思いから、抽選で参加を6家族に絞りました。

1回目は、野菜クイズ、野菜の苗のお世話、ペットボトル栽培キット作りの3つを行いました。野菜クイズは野菜のからだのつくりを考えながら、模造紙に写真を並べて答えます。みなさんよくご存知で、高得点でした。最後に、花の写真をヒントにラディッシュがどの野菜の仲間かを考えてもらいました。こちらは少し難しかったようで、出題側の私たちもヒントを意図どおり伝える難しさに気づかされました。クイズのあと、正解数の多かった家族から野菜シールを選んでもらいました。私たちのまねをして名札に貼る子もいました。クイズは大盛況だったので、予定より時間がかかりました。



そこで、いくつか予定していた野菜の苗のお世話のうち、間引きの作業をじっくりしてもらうことにしました。対象の苗はニンジン、ダイコン、カブ、ミズナ、キクナです。みなさん一心不乱に作業をしてくださり、終わったときには畝がすっきりしていました。間引いた野菜は家族ごとにお土産としてお渡ししました。



最後に、ペットボトル栽培キットを1人一つ作成しました。持参したペットボトルを切って、切り口にテープを巻き、自由に絵を書いたあと土を入れ、カブの種を埋めたら完成！カブが収穫できるよう、育て方を



真剣に聞いてくれました。残念ながら欠席されたご家族には栽培キットと種、イベントのしおりを郵送しました。

●ベジタブルファミリー 2回目●

(日時) 2019年12月9日(日)

(場所) 甲山農地・協働農家宅

(参加者) 西宮市在住の小学生とその家族

5家族21名

(学生スタッフ)9名

今回は農地への道中にわかれ、より余裕をもって参加者をお迎えしました。その結果、早く来た家族への対応も、間に来られた方や道に迷った方の誘導も分担してできました。また、開始時刻の調整などメンバー間ですばやく共有し、落ち着いてはじめられました。

2回目のスケジュールは、農地で野菜を収穫したあと、協働農家宅でおもちつきとお雑煮の昼食をとり、再び農地に戻ってお米クイズです。まずは、前回よりも大きく成長した野菜を観察しながら、収穫しました。白菜や大根など10以上のかごに山盛りの野菜が採れ



ました。参加者のみなさんにお渡ししたカブも生長しているようで、収穫できるまでお世話を頑張ってほしいと思います。

その後、協働農家の甲斐さんのご自宅へ移動しまし

た。甲斐さんご夫婦やLEAFのボランティアさんにもご協力いただき、朝早くからおもちつきの準備とお雑煮の調理をしていました。お雑煮には事前に農地で採った野菜をたくさんいれました。

参加者が一箇所に固まらないように、おもちつき組、お雑煮組、お家見学組にわけてローテーションで動きました。おもちつきでは1人一回は杵を持ち、まるめる作業もしました。できたてを各々もってきたトッピングをつけて食べました。また、農地の大根のみぞれもちも試食しました。お家見学は鷲林寺地域に古くからある農家のご自宅はどんな様子なのか、地域の方と交流する機会をつくるのが狙いです。



農地に戻ったあと、お米クイズをしました。前回盛り上がったので、同様に模造紙上での並べ替えクイズを作りました。今回は写真だけでなく藁やぬかなど現物も使用し、米作りの一年の流れと精米の過程を考えてもらいました。また、うるち米ともち米の実物を配って、なぜ色が違って見えるのか解説しました。最後まで頑張ったみなさんに、野菜シールをプレゼントしました。

今回もお土産にみんなで採った農地の野菜をお渡ししました。また、野菜シールで飾ってくれていた名札もお持ち帰りいただきました。イベント2回とも、少人数に絞ったかいあって、参加者さんと密なコミュニケーションがとれました。イベントを通して家族の間で野菜が話題にあがるようになったとうかがい、嬉しかったです。

一年間たくさんの方からお力添えいただき、イベン



トを成功させることができました。計画のご相談にのってくださいたり、野菜のお世話をしてくださったり、イベント当日にお手伝いいただいた久世様、LEAFのみなさま、甲斐様、ご協力本当にありがとうございました。